

緑地雑草科学講演会のご案内

地域の緑地生態系を支える日本列島のゴルフ場

講師：伊藤幹二氏・伊藤操子氏（マイクロフォレストリサーチ株式会社）

日時：2023年11月14日（火）13時30分～15時30分

場所：Zoomによるオンライン開催

申込：メール申込（k-saji@bousou-ken.orgまで）

申込期限 11月10日（金）

後日 Zoom の URL を申し込みのメールアドレスにお送りします

その他：参加費無料

荒廃がすすむ里地・里山。そうした地域の緑地生態系をいかに改善し維持するかは喫緊の課題ですが、列島に広がる日本特有のゴルフ場の存在はその答えの重要な部分を担っていると言えそうです。ゴルフ場の敷地は、本来の利用目的としての芝地植生とこれを取り巻く広く多様な構成の樹林から成る緑地です。その歴史と機能を丁寧に見直せば、地域生態系なかでの役割が見えてきます。

そこで、本講演会では、これまで様々な角度からゴルフ場の植生管理に関わってきた両氏に、日本のゴルフ場を地域自然資産としての視点で俯瞰して頂くことにしました。ゴルフ場を列島の植生利用史・風土の流れをのなかで見直し、緑地としての多様な機能の再評価を試みるとともに、その価値の次世代への継承についても考えます。

地域社会のあり方に関心のある方にはぜひ参加していただきたい内容となっています。ゴルフをする人にもしない人にも、世界に類を見ない日本のゴルフ場の‘いま’が見えてくるのではないのでしょうか。

皆様のご参加をお待ちしております。



講師プロフィール：

伊藤幹二氏 京都大学大学院農学研究科博士課程中退，農学博士

日本・米国企業において有害生物の管理事業開発に従事，2001年独立し現職。

NPO 法人緑地雑草科学研究所，NPO 法人兵庫県樹木医会，NPO 法人グラスパーキング技術協会において理事を務める。

伊藤操子氏 京都大学名誉教授，農学博士。京都大学で30余年雑草学の研究・教育に従事。現在 NPO 法人緑地雑草科学研究所・NPO 法人グラスパーキング技術協会理事。樹木医。著書に「雑草学総論」，「多年生雑草対策ハンドブック」など

<本講演の関連書籍>

列島ゴルフ場の科学（伊藤幹二・伊藤操子著）特定非営利活動法人緑地雑草科学研究所企画。大阪公立大学出版，2023年10月30日発行予定。